

<p>伝道弟子特別な集い-絶対性(マタイ 28:16-20)</p> <p><b>*序論</b>          ▲イエス様が最後にこのようにおっしゃられた。マタイ 28:16-20「あらゆる国の人々を弟子としないさい」この部分を伝道弟子はどのように見るべきか。イエス様の「特別な集い」だ。          (1)現場体験をしてみなさい。          (2)黄金漁場を探すチームを作ってみなさい。          (3)重職者特別伝道チームを構成しなさい。          (4)学院福音化チーム-とても緊急だ。          (5)専門チームを構成して集いを持ってみなさい。          ▲この特別な集いをこの間に続いてもう一度見るなら「絶対性」だ。  <b>1絶対条件</b>          (1)絶対主権-創造、予定、摂理、経綸、考え-この中に私がいるのだ。          (2)絶対計画-逆奇跡、逆計画、逆文化を変えなさい。          (3)絶対祝福-ただ、唯一性、永遠          ▲この中にいる者が伝道弟子だ。使徒 1:3、使徒 1:14、使徒 2:42、神業は正確に答えられる。  <b>2絶対内容</b>          (1)使徒 1:1、先に-キリスト          (2)使徒 2:1、日-五旬節          (3)使徒 3:1、時間-第三時の祈りの時間に。。。          ▲これが伝道弟子が握る内容だ。  <b>3絶対時刻表</b>          (1)使徒 29-11, 私たちがするのはない。神様が 15ヶ国の門をさっと開いておかれた。          1)産業人-この人たちは産業人だ。          2)世界-この人たちは単なる産業人ではなくて、全世界に散った産業人だ。          3)ユダヤ人-この人たちの共通点がユダヤ人だ。それで、祭りを守ろうとしたが、マルコの屋上の間にきた。神様の絶対時刻表だ。これがみなさんに備えられている。          (2)使徒 2:41、この備えられた時刻表だけ見れば、救われる者がどれほど多いか、3千弟子が起きる。伝道祝福が起きれば、経済が問題ではなく、人を生かす門がさっと開かれるようになっていく。だまされてはならないイエス様が山に集めておっしゃられた。(マタイ 28:16-20, マルコ 16:15-20, 使徒 1:8)          (3)使徒 4:4、5千人の弟子が起きた。これくらい救われる人が多い。          (4)使徒 6:7、これを見て、エルサレム全域で祭司の群れまで悔い改めた。          (5)ローマ 16章-この絶対時刻表に従って、あのローマ 16章まで(使徒 19:21)  <b>*結論-聖なる欲望</b>          ▲みなさんが聖なる欲望、聖なる動機で燃えなければならぬ。私たちの体質が福音をあかしする体質として燃えなければならぬ。          (1)Top の時刻表-みなさんがトップの時刻表に立つようになる。          (2)Top の内容-みなさんにトップの内容をくださる。          (3)Top の伝道-みなさんを頂上に上げて、トップの伝道をする。          ▲神様がみなさんを伝道者として呼ばれた。「世の終わりまでいつもあなたがたとともにいます」この祝福を回復するように願う。</p>	<p>70人重職者伝道ハンドブック(使徒 1:1)</p> <p><b>*序論-ただ</b>          ▲初代教会で一番良くやったこと、一番重要に扱ったのが重職者だ。そのように見ると、重職者に何を与えなければならず、するようしなければならぬのか。          ▲24時(一つ)-そこで答えが「24時」と思う。そして「一つ」を正しくしなければならぬ。          (1)伝道現場-長い間、伝道現場を見ながら感じたことをその人が解いていくのだ。          (2)時代問題-私たちに起る時代的な問題がある。これをこの人が解いていくのだ。          (3)身分-みことば、そうすればその人の身分に合うみことばがある。          ▲初代教会ではすばらしい使命と祝福を伝えた。  <b>1滅亡の時代-聖書</b>          1)強大国の滅亡預言と成就          2)イスラエル滅亡(マタイ 24:1-25:46)          3)世界滅亡-II テモテ 3:1-13、黙示 12:1-10、黙示 12:1-9          (2)伝道、宣教の未来-マタイ 24:14、復活メッセージ、エペソ 3:1-15  <b>1ルカの証拠を握りなさい</b>          (1)使徒 1:1 キリスト、使徒 1:3 神の国、使徒 1:8 聖霊の満ちし          (2)ルカがペテロの証拠を集中取材した。          (3)パウロに起きたキリストの証拠を記録した。  <b>2ルカが見た伝道と宣教(宣教企業)</b>          (1)使徒 9:36-43、タビタの宣教企業だ。          (2)使徒 16:11-15、ルデヤの宣教企業          (3)使徒 10:1-6、皮なめしシモン、これが宣教企業だ。          (4)使徒 18:1-4、天幕を作ったが、これが宣教企業だ。          (5)ローマ 16:23、すべての伝道者を生かす家主ガイオ。          (6)ピレモン 1:1-25、ピレモン  <b>3初代教会の重職者の献身</b>          ▲いのちをかけて献身をした。これは、いのちをかける価値を分かった。さらに先立って話せばいのちを持っていた。          (1)使徒 1:14、いのちをかけてマルコの屋上の間に集まった。          (2)使徒 6:1-7、いのちをかけてみことば運動、祭司も悔い改めた。          (3)使徒 11:19、ステパノの患難によって散らされた者が(重職者中心)集まったのだ。いのちをかけた。          (4)使徒 12:1-25、より大きい危機がきた。その日の夜に集まって、夜通し祈ったら、奇跡が起こった。          (5)使徒 13:1、パウロが宣教師として派遣。そのとき、重職者がパウロとともに宣教出て行ったのだ。  <b>*結論-ローマ 16:1-27</b>          (1)裏面契約の祝福-助ける者、同労者、同国人、労苦する者、愛する者。。。このようにニックネームを付けた。          (2)サタン-このとき、サタンがあなたがたの足の前にひざまずくようになる。          (3)時刻表-このとき、見えるようになる。時刻表          世々に渡って隠されていたが、いまや現わされた。          ▲私が私たちの重職者にどのようにメッセージを与えるのか。聖書は必ずその人の職業、職分、年齢にしたがってみことばがある。年齢を参考にしなければならぬ。必ずその人を見れば、神様が何を要求されるのか、時代的な要求がある。そして、その人と私たちが最も成り立たなければならぬことが何か。毎日のように祈りが通じるようにするのが聖霊の導きだ。主のしもべは、この祝福を(24時)受けなければならぬ。</p>	<p>ミッションホーム、出会い-ミッションホーム「ただ(永遠、仕事、今日)</p> <p><b>*序論</b>          ▲私たちに出会いが起きる。これに従って見える。これを見て第一に影響を与えられるのがミッションホームだ。会ったとき、何を教えなければならぬか。「ただ」を教えなければならぬ。この「ただ」は 3 つで意味がある。ミッションホームでだれが何を話したかが重要だ。この「ただ」というのは「永遠なこと」があって、私たちが「仕事」に対して「ただ」があって、「今日」に対する「ただ」がある。  <b>1みことばのただ</b>          (1)答え(使徒 1:1, 3:8)-みことばのただの中で、聖書がこのように答えを教えている。問題は数多くあるが、答えは一つだ。使徒 1:1, 3:8 節のただを教えなければならぬ。これのほかに解決策がない。本当に私の人生の中心がこれに(使徒 1:1, 3:8)なければならぬ。          (2)答え-そうすれば、答えがくる。使徒 2:1、五旬節の日になって。。。          (3)みことば成就-このときから、みことばが成就し始める。使徒 2:14-21。          (4)出会い-使徒 29-11、15ヶ国、使徒 241 3千弟子ドアが開く。          (5)生活(使徒 243-47)-生活に証拠が出てくる。  <b>2私のただ</b>          (1)ペテロが話した私のただがある。          1)マタイ 16:16、あなたは生ける神の御子キリストです          2)使徒 3:1-6、ナザレのイエス・キリストの名で起きて歩きなさい。          3)使徒 4:12、天の下に人間に救われるべき名は他に与えられていない。          (2)パウロのただがある。          1)コロサイ 2:2-3、すべての知識、知恵の宝がキリストの中に隠されている。          2)ピリピ 3:1-20、私たちが好きなこと、持っている動機、パウロはそれが必要ないと言った。          3)ただ宣教          (3)ローマ 16章の人はただが個人にあった。  <b>3使命-知らせること</b>          ▲ミッションホームで最大の使命は、他の人に、相手にただを知らせることだ。          (1)個人-祈りと安否          ▲パウロの書簡 1章を読んでみれば、個人の祈りと最後には安否が出てきた。          (2)書簡(福音)-書簡を送る時ごとにその地域に必ず必要な福音に対する部分を説明した。          (3)個人ミッション-それとともに個人ミッションを与えた。          ▲これを持っていけば神様がご存知だ。          (1)使徒 9:10、アナニヤだ。ここに時代を生かす人物パウロを付けた。          (2)使徒 10:1-6、神様が皮なめしシモンの家にペテロを招かれた。その日、祈る中にイタリア隊の特殊部隊隊長コルネリオに会うようにされた。使徒 16:15 私を主に忠実な者と思われるならわが家にきて留まってください。I コリント 16:19 プリスカとその家にある教会、コロサイ 4:15、ヌンパの家          ▲みなさんがこのように(3番)準備ができれば、神様が送られる。</p>	<p>専門(いやし)働き-病気になる者-いやし「唯一性」</p> <p><b>*序論</b>          ▲病気になる者には、ただに対する答えが「唯一性」だ。いやしの最も重要な答えだ。  <b>1唯一性の答え</b>          ▲唯一性の答えを知らせなければならぬ。病気が問題ではなくて、神様の子ともになることがさらに重要だ。          (1)選択ヨハネ 9:3-「最も重要なのは、神様があなたを選択したこと。ヨハネ 9:3、様があなたになさりたいことがある。神様があなたに、とても大きな救いを備えておいてあなたを呼ばれた。          (2)700年ぶりに回復した福音だ。あなたの家に福音を回復しようとなたを呼ばれた。          (3)聖霊の満ちし-あなたが病気を直すのが重要なことでなく、聖霊の満ちしを受けるのが重要だ。  <b>2唯一性のいやし</b>          (1)使徒 3:1-12、生まれつき足のなえた人、直せない。それで「ナザレのイエス・キリストの名で命じる。起きて歩きなさい!」ここで鍵が「じっと見つめて。。。そして、私たちを見なさい。」「これがいやしの鍵だ。あなたが本当に主だけ見つめれば、驚くべき働きが起きる。正しく見つめなければならぬ。          (2)使徒 8:4-8、ユダヤ人が行かないサマリヤだ。彼らがキリストに対して説明するのを心をついて聞いた。          (3)使徒 13:1-12、宣教地へ初めて行ったが、パウロが集中的に祈ったが、何からかいたかという、暗やみの勢力からかいてしまった。          (4)使徒 16:16-18、私たちが凝視する単語がある。「三日」三日間、パウロが逃げ回ったのでなく、集中祈りをした。どれだけキリストの唯一性に集中したかとするれば、そこで奇跡が起こった。          (5)使徒 19:8-20、ソラノ          1)使徒 19:1-7、信じるとき、聖霊を受けたのか。あなたがマルコの屋上で起きたことを分かるのか          2)会堂で大胆に3ヶ月の間          3)弟子を別々にたてた。          4)そして、2年間、集中した。その町に神様のみことば、福音を知らない人が一つもないように。。。奇跡が起こった。          5)使徒 19:21、ローマ福音化  <b>3唯一性持続</b>          ▲その次に、この祝福唯一性を持続するのだ。          (1)ヨハネ 1:12、身分と権威-神様の子とも          (2)力-聖霊に満ちされれば、権威と力が与えられる。今から祈れば良いのだ。          (3)I ペテロ 2:9、キリストの祝福がみな出てきた。神業はあなたがたをキリストの大使として呼ばれた。  <b>*結論-参考にする</b>          (1)肉体的病気-今から肉体的病気になる者だけいやしチームを構成しなさい。          (2)心の病気-心に病気になる不安な人が多い。この人たちだけいやしチーム構成が切実だ。          (3)霊的な病気-他の人が分からない霊的な病気になる人をいやしすることができるチーム構成がとても切実だ。          ▲今から 24時、本当にこの契約を握って祈りなさい。</p>
---	---	--	---